

## 令和元年度島根県「水と緑の森づくり」アンケート調査について（概要）

### 【趣旨】

島根県の水と緑の森づくり税のあり方や水と緑の森づくり事業について県民の森づくりに対する思いや、期待等を把握するためにアンケート調査を実施する。

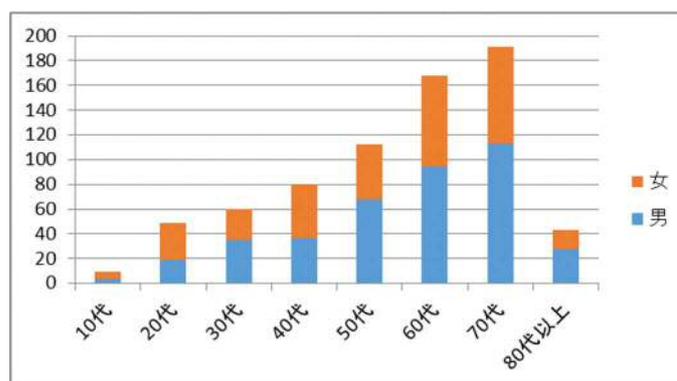
### 【実施方法】

- (1) 調査項目
  - ① 水と緑の森づくりについて
  - ② その他
- (2) 調査対象
  - ① 母集団 島根県内の市町村に居住する満 20 歳以上の男女
  - ② 標本数 2,000 人
  - ③ 抽出法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出法
- (3) 調査方法
  - ① 郵送によるアンケート送付及び回答
  - ② 調査期間：令和元年 9 月 9 日～9 月 30 日
- (4) 実施
  - ① 事業主体：島根県林業課
  - ② 調査、検証：島根大学生物資源科学部

### 【調査結果】

- 有効回答数 7 1 9 回答率 35.95%
- 男性 3 9 9、女性 3 1 3

	男	女
10代	4	5
20代	19	30
30代	35	25
40代	37	43
50代	68	44
60代	95	73
70代	113	78
80代以上	28	15
空白	7	

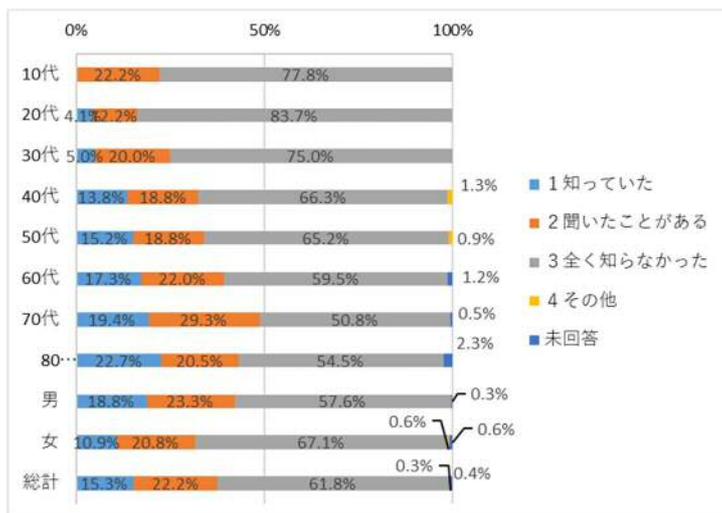


## 1. 水と緑の森づくり事業（税）の認知度について

### 1) 税の認知度

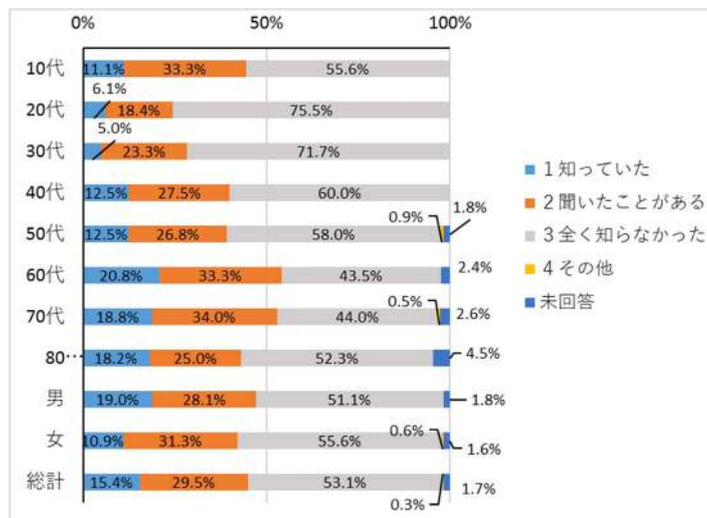
「知っていた」15%程度、「聞いたことがある」20%程度、「全く知らなかった」60%程度であり、認知度は高いとはいえない。

年齢別には、若齢者よりも高齢者が、女性よりも男性で認知度が高い。



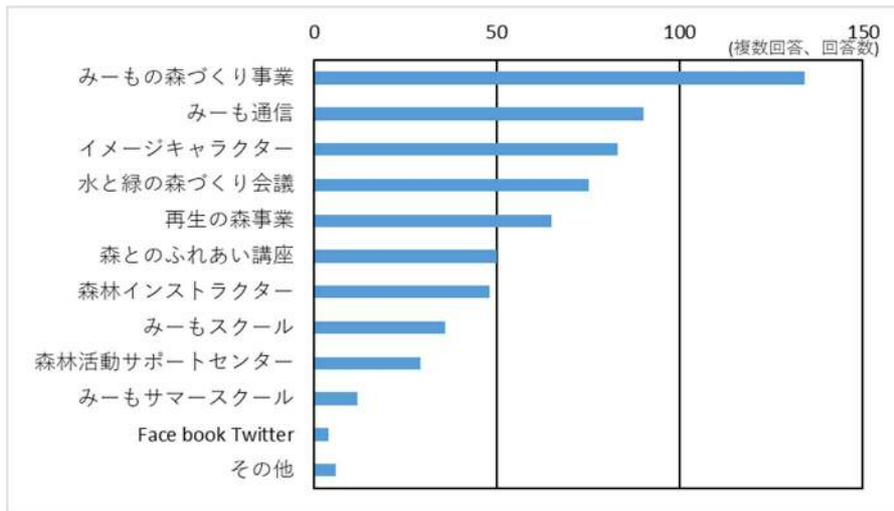
### 2) 事業の認知度

「知っていた」15%程度、「聞いたことがある」30%、「全く知らなかった」55%である。水森税と同様に若齢者よりも高齢者が、女性よりも男性で認知度が高い。



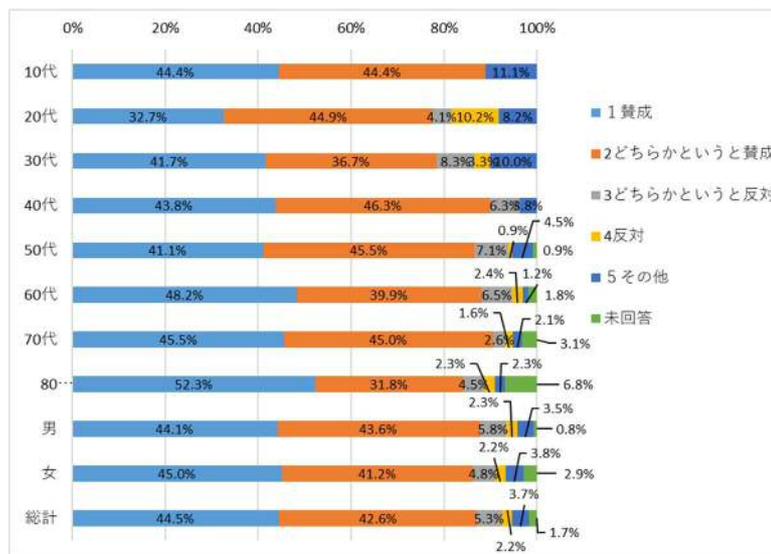
### 3) 事業別の認知度

県民参加型の森林活動であるみーもの森づくり事業の認知度が高く、この他みーもの通信、イメージキャラクター、水森会議、再生の森事業までは比較的認知度が高い。



## 2. 水と緑の森づくり税の徴収に対する賛否について

賛成（賛成、どちらかといえば賛成）の割合は、すべての世代で、8割以上あるいは8割に近い値であり、水森税の徴収に対して一定の理解が得られている。



## 3. 妥当と思う税額について

現行の500円が妥当という意見がもっとも多い。また、全体的な傾向として負担額平均は徐々に上昇している。

表. 妥当な額について

	1 300円	2 500円 (現在)	3 800円	4 1,000円	5 2,000円	6 5,000円	7 10,000円	8 それ以上	9 負担し たくない(0円)	10 その他(空白)	総計	負担額 平均(円)
10代	0	0	1	5	1	0	1	0	0	1	9	2225
20代	3	22	2	9	2	1	1	0	8	1	49	866
30代	4	33	3	11	1	0	2	0	6	0	60	885
40代	6	39	8	13	3	2	4	0	3	2	80	1240
50代	5	43	6	34	9	7	0	0	3	4	112	1073
60代	9	73	4	55	11	2	1	0	9	2	168	850
70代	12	71	11	63	17	1	0	0	9	2	191	815
80代以上	2	22	2	12	1	1	0	0	1	0	44	785
男	24	155	19	123	24	11	4	0	26	9	399	948
女	17	148	18	79	21	3	5	0	13	3	313	919
総計	41	303	37	202	45	14	9	0	39	12	712	935

負担額平均・・・「それ以上」15000円として計算、「その他」、「空白」は人数から除外

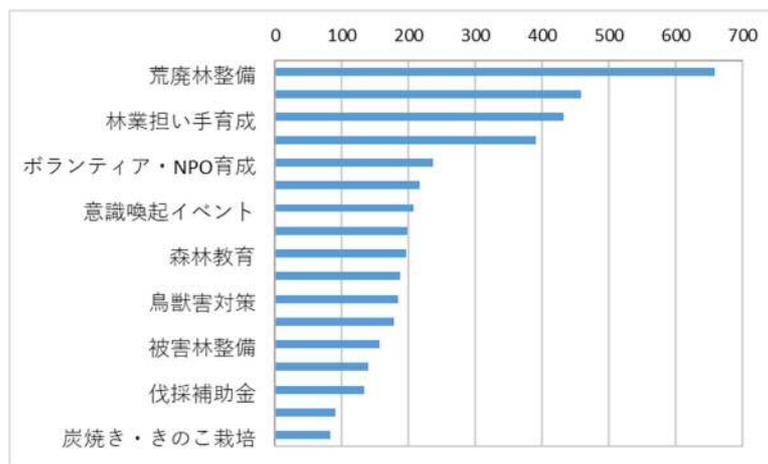
表. 妥当な額（負担額平均）の推移

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
30代以下	798	784	829	721	778	853	968	969
40-50代	814	904	763	907	785	778	980	1143
60代以上	852	813	816	885	900	869	941	826
男	1008	903	850	908	931	923	981	948
女	687	785	754	795	735	770	905	919
全体	815	836	796	843	838	835	942	935

(単位:円)

#### 4. 税の使途として妥当と思うもの

荒廃森林の整備や身近な里山や竹林整備に対する支援や、それらを行う林業の担い手育成に対する支援についてのポイントが高かった。



#### 5. 森林ボランティア活動への参加意向について

高い参加率が期待できるものは「会社・学校行事で皆が参加するもの」で参加の回答が多いものから見ていくと、作業の負担度や、拘束時間で大きく左右されていることがわかる。

